

# インドネシア共和国バンドン市-川崎市に関する都市間連携

2016年2月、バンドン市と川崎市は「低炭素で持続可能な都市形成に向けた都市間連携事業に関する覚書」を締結、2020年2月には、持続可能な都市形成に向けた連携をより一層推進するため、新たな覚書を締結し、これまでに廃棄物管理能力向上や河川の水質改善プロジェクトを実施してきた。本事業では未着手となっている大気汚染の改善について、その要因となっている交通渋滞の緩和に取り組み、さらにGHG削減効果が見込める優先順位の高い案件を中心に支援を行い、脱炭素化社会の実現に貢献する。

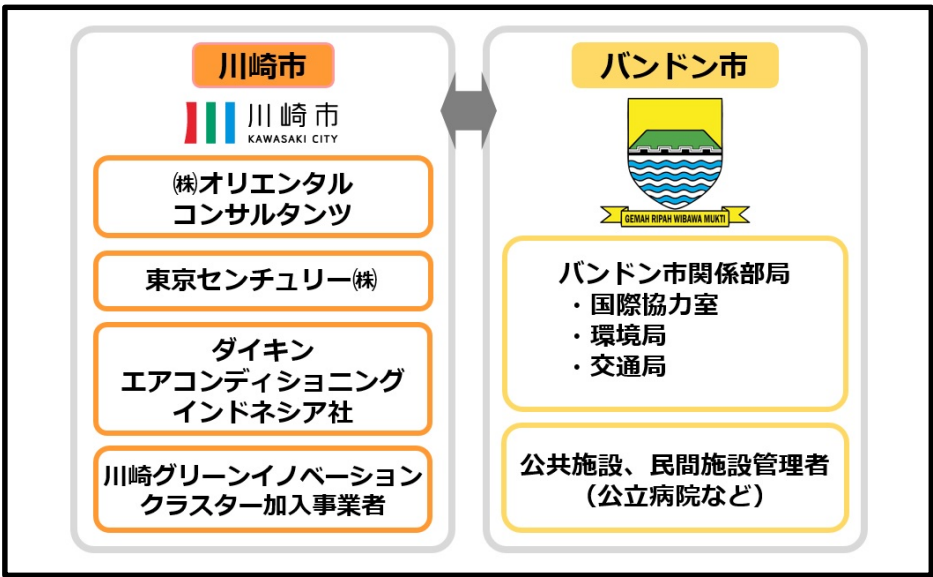


**インドネシア国バンドン市**  
環境局戦略計画等に基づき、省エネ・再エネに取り組む。GHG排出量は、目標を上回る削減を達成。グリーンビルディング基準の策定にもいち早く取り組む。



**川崎市**  
2050年までにCO<sub>2</sub>排出実質ゼロ、使用電力の再生可能エネルギーへの転換100%を目標に掲げる。川崎市の環境技術・環境産業を生かした地域経済の活性化と国際貢献を推進。

# インドネシア共和国バンドン市-川崎市に関する都市間連携



## 【事業活動】

- 高効率空調設備の更新計画の立案と、JCM設備補助事業の活用可能性検討
- 街路灯のLED転換計画に対するJCM設備補助事業の活用可能性検討
- 日本の交通渋滞緩和のための施策の紹介
- 大気汚染監視システムの紹介と、導入可能性検討
- 川崎市のグリーンビルディング普及に向けた施策、取組みの紹介
- オンラインワークショップの開催 (4回)

## 【成果】

- バンドン市保有施設 (地域総合病院等) を対象とした、高効率空調設備への更新計画、JCM設備補助事業としての具体的な提案
- 街路灯のLED転換計画の詳細確認、JCM設備補助事業としての具体的な提案
- 日本の大気汚染監視システムへの理解促進と次年度以降の活動計画策定
- グリーンビルディングに係わるバンドン市、川崎市の施策・取組等の実績紹介による知見共有

バンドン市内の街路灯



交通渋滞の様子



地域総合病院